

2024年度 訪問支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名		ゆめラボ道笑町教室		公表日		2025年 3月 1日
環境・運営・体制	備	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
業務改善	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		児の発達に応じた教材、または所属で参考になるものを選択した。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者数に対応できたと思う。	
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		児童発達管理責任者や児童発達支援における療育担当、管理者等と検討している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1～2月に評価表を配布、改善に努めている。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問の頻度や時間など、適切であるか情報を共有している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育、訪問支援により参加する機会(時間)は限られているが、内外研修に参加した。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		療育の経過、家庭や園の様子を把握し、ニーズに踏まえて計画作成を行っています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		関係者に幅広く情報を聞き取り、共有し、検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		同上	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		更新ごとに共有している。 また、計画に沿って支援を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		インフォーマルなアセスメント中心であるが、医療からのフォーマルなアセスメントも参照している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児の発達や園の情報に応じた具体的な内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		12と同様	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		関係する職員と情報を共有し、連携して支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		常に情報共有を行い、児童発達支援の療育にも反映してもらっている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		各園、学校の方針に従い、支援を行っている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録を作成し、家族や園に発達の経過を伝えたり、課題を共有している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問時に必ず園や家庭と訪問支援の進め方等について共有している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		訪問支援員や児童発達管理責任者が必ず出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		情報提供書を必要に応じて作成し、関係者に送付している。	
関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		同上	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○		外部の訪問支援事業所と情報交換をしたり、専門家から意見を頂く機会がなかった。今後情報交換の場があると良いと思う。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		訪問支援員ではなく、管理者が参加していた。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		児の成長、発達や課題について共有している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		児童発達支援、個別療育内やペアレントトレーニングにより情報共有を行っている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず説明している。	
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		説明用紙をお渡しし、本事業について説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		常に、児や家族の利益を第一に計画を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		一緒に計画書を見ながら内容説明を行い、疑問点等ないか確認している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		毎回支援内容をフィードバックする際に、家族の様子なども聞き取り相談援助を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保育所等訪問支援事業としては行っていない必要だとは感じているが、スタッフの数の関係上時間捻出が難しい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		速やかに対応を行っている。個別療育を利用されている方がほとんどであるため、対面の機会が多い。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		対面で情報提供を行っている。また通信分を作成し渡している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		記録用紙計画書は、鍵付きキャビネットに保管している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児に対しては、写真カードやジェスチャー、ゆっくり話すなどで対応している。保護者に対しては、理解に応じた言葉や発話速度を調整している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時、適宜相談援助を行っている。その際に家庭と共有したことについてもお話ししている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		終了後に30分程度カンファレンスの時間を作ってもらっている。担任・園長・加配等が参加している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		終了後に、支援内容を対面もしくはオンラインで実施している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		園で知れた情報についても留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		言語聴覚士として助言援助を行うことができている。信頼関係も構築できていると感じている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員、家族に周知し、研修や訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修及び訓練を実施し、支援中も常に安全策を講じるよう留意している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が発生した際には、文書、口頭での説明の報告を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を受け、必要な知識を得るよう努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		訪問の個別支援計画への記載をしていなかったため、今後は記載をして改善していきたい。